

EWP 里山保全の実践経済学 フィールドワーク・ガイドライン（受講生向け）

この授業は、学内の教室で行われる通常の授業とは全く異なるものです。授業担当者、ティーチング・アシスタント（TA）およびスチューデント・アシスタント（SA）の指示に従うとともに、以下の注意事項を守って下さい。

体調管理：自分の身体は自分で管理しましょう。

- ・より良い体調で出席できるよう心がけて下さい。
- ・体調がすぐれないと感じたときは無理をせずに休んで下さい。欠席する場合は担当者もしくは TA、SA に届け出て下さい。
- ・授業中に体調に異変を感じたときは我慢をせずに担当者もしくは TA、SA に申し出て下さい。
- ・帰宅後すみやかに入浴し、着替えるよう心がけて下さい。

服装・装備：環境から身体を保護するものです（文化適応）。

- ・明るい色の長袖・長ズボンを着用し、できる限り肌を露出しないようにして下さい。
- ・つばのある帽子をかぶって下さい。つばは広い方が良いです。
- ・着替え（少なくとも靴下）を用意して下さい。状況によってはレインコートを用意して下さい。
- ・タオルもしくは日本手ぬぐいを複数枚用意して下さい。

出席管理：常に自分の存在を他者に認識してもらいましょう。

- ・到着時及び帰宅時に、出席記録簿に時間を記入して下さい。
- ・その日に指定された活動範囲から外には勝手に出ていかないで下さい。
- ・里山きゃんぱすから一時的に退出する場合は、必ず担当者または TA、SA の許可を得て下さい。

熱中症：環境から身体を守る術が重要です（行動適応）。

- ・暑熱順化ができていない人は特に注意して下さい。
- ・こまめに水分補給をして下さい。冬でも脱水症状を起こすことがあります。
- ・具合が悪くなりそうだと感じたら、直ぐに風通しの良い木陰で休憩して下さい。
- ・ほてり、めまい、体が攣るなど、少しでも異変があったら、直ちに担当者もしくは TA、SA に申し出て下さい。

危険生物：敵を知り己を知れば百戦殆からず。

- ・フィールドワークの直前には、毎回、事前配付資料を再度読んで内容を確認しておいて下さい。
- ・マムシ 草の深いところや目の届かないところにいきなり手を入れないで下さい。
- ・スズメバチ 何もしなければ何もして来ません。近づいてきても騒がずにじっとしてして下さい。
- ・マダニ 草の上に座ったり寝転んだりする場合は敷物をして下さい。
- ・ウルシ・ヌルデ：かぶれた場合、8～48 時間後に痒み水疱がでますが、自然に治癒します。痒みに耐えられない場合はかゆみ止めを塗るか、病院でかゆみ止めを処方してもらって下さい。

- ・イノシシ 夕暮れ時には近くの藪まで近づいてくることがあります。遭遇した場合は目を離さず、ゆっくり後ずさりしながら離れて下さい。
- ・マムシ、スズメバチ、マダニ、イノシシを見かけた場合、直ちに担当者もしくはT A， S Aに報告して下さい。

道具：正しい使い方を身につけましょう。扱いを誤ると凶器になります。

- ・道具を勝手に使用しないで下さい。使い方を誤ると道具が壊れたり怪我をしたりしかねません。
- ・授業内容によっては鎌、鋸、鉋、小刀などを使うことがあります。刃物を使用する場合は担当者の許可を得て、担当者の指示に従って使用して下さい。
- ・壊れた道具は使用しないで下さい。そのような道具を見つけた場合や使用中に道具が壊れた場合はその旨を担当者もしくはT A， S Aに申し出て下さい。
- ・一時的に作業を中断する場合には、人の往来のない安全な場所に道具を置いておいて下さい。

その他：

- ・勝手に火をおこさないで下さい。
- ・ゴミは自宅まで持ち帰って下さい。
- ・担当者以外の方から指導・アドバイスを受ける場合は担当者の許可を得てからにして下さい。
- ・分からないこと、疑問に思うこと、不思議に思うこと、気づいたこと、その他どんなことでも担当者や T A, S A に気軽に伝えて下さい。